

よりそう



2012.5.19(土)

第177号

編集責任

キヨ子の容子

5/20 (日)

天気

晴れ

(大船渡)

気温

最高

19℃

最低

11℃

降水

確率

11%

挨拶の大切さ

垣根を作らず

よりそう気持ちを高めよう



何度か参加された方から、以下の提案を頂きました。

現場で活動される皆様、日々お疲れさまです。本部スタッフの皆様、朝早くから夜遅くまで動き回っていらっしゃることに感謝します。

さて、直近では5/3～5に参加させて頂いたのですが、昨年のGWと比べて、ボランティア同士挨拶しあう機会が減ったなと思いました。私自身も積極的に挨拶してなかったところがありますので、自戒を込めて直感を述べたいと思います。

昨年のGWは、本部でも宿泊施設でも、人がすれ違う度に挨拶をし合う雰囲気がありました。お互いまだまだ慣れないところ、挨拶によって心を通わせていたのだと思っています。しかし、今年のGWは誰もが無言のままであり、一方で長期滞在スタッフの方々の中には内輪な環境ができていて何か近づきがたいものを感じました。

長期滞在スタッフの皆さんは、長時間の活動で心身疲弊されていらっしゃるかもしれませんし、新しい人たちを迎え入れるのも日常茶飯事のこと、慣れていらっしゃるかもしれません。しかし、仮にも私達の団体名は「遠野『まごころ』ネット」であり壁新聞のタイトルは「よりそう」です。

「まごころ」と「よりそう」は遠野に集うボランティアたちの原点であり、決して忘れてはならないものだと思います。その原点を忘れないために必要なことは、すれ違うたびに挨拶をする、それに尽きると思うのです。

お互いに挨拶しづらい雰囲気は作らない、1日何度でも声を掛け合っても掛け合いすぎることではない、そんな環境を保つことが遠野まごころネットに集うボランティア一人一人の活動が長続きするための秘訣だと思うのです。

私は今度活動に参加させて頂く時には、挨拶を絶やさないように心がけたいと思います。どうか一つ、皆さんも挨拶について、見直して頂けないでしょうか。心を寄り添わせながら、活動が続けば幸いです。

「りくたか」と呼ばないで、フルネームをお願いします

以前、遠野まごころネット内で「陸前高田をりくたかと呼ぶことを快く思わない方がいるので気をつけよう」といった記事が「よりそう」にありましたが、最近のボランティアの方の中には、「りくたか」と平気で言う方が少なからずいらっしゃるようですと再度報告がありました。

5月12日(土)に付けの東海新報(気仙地域の地域紙)に「りくたかと呼ばないで」と題した読者投稿が載り、コピーが掲示板に貼ってあります。できたら、一度目を通して頂けてますようお願いいたします。

5/19(金)ボランティアミーティングはPM5:10@男子

くわいくはHPへ

宿泊者:64名

5/18(金)活動者数:152名